

表 令和 7 年 2 月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報の発表履歴

火山名	特別警報、警報 及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概要
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、 入山規制)	解説情報 第 10～17 号	3 日、7 日、10 日、14 日、17 日、21 日、24 日、 28 日 16 時 00 分	活発な噴火活動が継続。南岳山頂火口の 爆発、噴火、噴煙、大きな噴石、火映の状 況。昭和火口では噴火及び火映は観測さ れず。 現地調査による火山ガス（二酸化硫黄）放 出量は 1500～2200 [t/日]（3 日、10 日、 26 日）が多い。 火山性地震、微動の発生状況。 GNSS 連続観測では、始良カルデラ（鹿児 島湾奥部）を挟む基線で長期にわたり地 下深部の膨張を示す緩やかな伸びがみら れる。 始良カルデラ深部にマグマが蓄積した状 態、火山ガスも概ね多いことから、今後も 噴火活動が継続すると考えられる。
		降灰報(速報)	(今期間発表なし)	噴火発生から 1 時間以内に予想される、 降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
		降灰予報(詳細)	(今期間発表なし)	噴火発生から 6 時間先まで（1 時間ごと） に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
岩手山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	解説情報 第 6～9 号	7 日、14 日、21 日、28 日 16 時 00 分	やや深部の低周波地震が 25 日に一時的 に増加したが、その他の地震活動に大き な変化はない。山頂の火山性地震は、2024 年 11 月頃から発生頻度がやや高かった が今月後半は観測されていない。黒倉山 付近の微小な火山性地震は、引き続き少 ない状態。 傾斜計、ひずみ計、GNSS 連続観測で、2024 年 2 月頃から山体深部の膨張を示す変動 を観測。 西岩手山（大地獄谷・黒倉山から姥倉山） の想定火口から概ね 2 km の範囲に影響を 及ぼす噴火の可能性はある。
浅間山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	解説情報 第 10～17 号	3 日、7 日、10 日、14 日、17 日、21 日、24 日、 28 日 16 時 00 分	火山性地震は 2024 年 4 月中旬以降増加 した状態。同 3 月中旬からの山体西側の 膨張を示す傾斜変動は 5 月以降は停滞。 火山ガス（二酸化硫黄）放出量は 500[t/ 日]（12、17、25 日）、2023 年 3 月以前よ り多い。 引き続き、火口から概ね 2 km に影響する 噴火の可能性はある。
御嶽山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	解説情報 第 21～30 号	1～3 日、7 日、10 日、 14 日、17 日、21 日、24 日、28 日 16 時 00 分	火山性地震は、12 月中旬以降増減を繰り 返しながら発生していたが、1 月下旬以 降少ない状態。1 月 22 日以降火山性微動 は観測されていない。傾斜計及び GNSS 連 続観測では、火山活動によるとみられる 地殻変動は認められない。 12 月中旬以降、山頂付近で火山性地震の 増加や、山頂方向が隆起する地殻変動を 伴う火山性微動が観測され、火山活動が 高まっている。地獄谷火口から概ね 1 km 範囲に影響する噴火の可能性はある。
霧島山 (新燃岳)	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、 火口周辺規制)	解説情報 第 6～9 号	7 日、14 日、21 日、28 日 16 時 00 分	10 月下旬頃から火口直下で火山性地震が 増減を繰り返す、前 10 日間の地震回数は 多い状態で経過。監視カメラでは火口の 噴煙及び周辺の地熱域に特段の変化は認 められない。 GNSS 連続観測では、11 月頃から地下の膨 張と考えられる基線のわずかな伸びが認 められる。霧島山深部の膨張を示す変化 は認められない。 火口から 2 km の範囲に影響する噴火の可 能性はある。

令和7年2月 地震・火山月報（防災編）

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する特別警報・警報・予報・情報等		概要
薩摩硫黄島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第5～8号	3日、10日、17日、24日 16時00分	白色の噴煙と、夜間に時々高感度の監視カメラで火映を観測。火山性地震は少ない状態。火山性微動はなし。GNSS連続観測では、山体の膨張を示す変化はない。長期的には熱活動や噴煙活動が高まった状態が続き、火口周辺に影響する噴火の可能性はある。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第6号	7日 16時00分	古岳火口浅部の火山性地震はやや多い。新岳火口浅部の火山性地震は少ない。GNSS連続観測では2023年11月以降、山体の膨張を示す変動は認められない。新岳火口及び古岳火口の周辺に影響する程度の噴火の可能性はある。
	噴火予報 (噴火警戒レベル1、 活火山であることに留意)	噴火予報	14日 11時00分	火山性地震が12月上旬に増加したが、その後減少。他の観測データにも特段の変化は認められない。火山活動は低下し、新岳及び古岳の火口周辺に影響を及ぼす噴火の可能性は低くなった。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル2、 火口周辺規制)	解説情報 第7号	14日 11時10分	主に古岳付近浅部の火山性地震が12月上旬に増加したが、その後減少。火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は少ない状態で経過。これらのことから、噴火の可能性は低くなったと判断した。山体浅部の火山性地震がやや多い状態で経過し、今後の火山情報に留意。
		解説情報 第5～8号	3日、10日、17日、24日 16時00分	御岳火口で噴火活動が継続。爆発、噴煙、火映の状況。大きな噴石の飛散。集落（火口から南南西3.5km）で降灰あり。島の西側での火山性地震は少ない。火山性微動は主に噴火に伴って発生。GNSS連続観測では、10月以降、島の西側やや深部でマグマ蓄積量増加を示唆するわずかな変動が認められる。長期に噴火活動が継続し御岳火口周辺では大きな噴石が飛散する可能性がある。
		降灰予報(速報)	(今期間発表なし)	噴火発生から1時間以内に予想される、降灰量分布や小さな噴石の落下範囲。
海德海山	噴火予報 (活火山であることに留意)	降灰予報(詳細)	(今期間発表なし)	噴火発生から6時間先まで(1時間ごと)に予想される降灰量分布、降灰開始時刻。
		噴火予報	14日 11時00分	警報解除。2023年1月4日まで周辺海域に変色水や浮遊物が確認され、その後の観測では顕著な変色水等は認められない。周辺海域に影響する噴火の可能性は低くなったと考えられる。
		解説情報 第1号	14日 11時10分	2022年8月23日に変色水及び浮遊物が確認（海上保安庁）され、噴火警報（周辺海域）及び火山現象に関する海上警報を発表した。2023年1月4日の気象衛星ひまわりによる変色水の確認以降、海上保安庁の観測で顕著な変色水等の特異事象がないことから、噴火の可能性は低くなった。噴火警報（周辺海域）を解除し、火山現象に関する海上警報を解除した。

注1）表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注2）岩手山、浅間山、御嶽山、霧島山（新燃岳）、桜島、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、噴火警報を発表している間、毎日02時から3時間毎に8回降灰予報（定時）を発表している。口永良部島では、14日8時で発表を終了した。